

# 栃の木からの手紙

2023年 水無月 6月号



- 4日： 満月 旧 4月 16日
- 6日： 芒種
- 18日： 新月 旧 5月 1日
- 21日： 夏至
- 23日： 沖縄慰霊の日



2023年

有機 JAS 畑  
面積 209a

作成:20230518

休閑緑肥 緩衝地帯 ひまわり 4本 6a	休閑緑肥 7a						休閑 緑肥 (5a)
	シャドー・クイーン	とうや	ノーザン・ルビー	きたあかり	赤ピーツ	さやあかね	
	12本 18a	32本 48a	12本 18a	16本 24a	16本 24a	40本 59a	

再生・蘇生。昨年枝を伐採した栃の木。5月30日、藤の花が目にとまり久し振りにセンターの庭に足を踏み入れた。栃の木も大きな葉を付けよく見ると塔の様な花も咲いているのが確認できた。

今年は、農作業が早くに進み、一般の芋は4月下旬に終わり、ビートの移植作業は桜が散り始めた5月4日で完了しました。そしてJAS畑脇にある李（スモモ）の木は白くなり始めています。

カッコウ→ 5/18  
エゾ春蝉→ 5/27



5月5日、李の花の開花に合わせて有機JAS芋の播種の準備を始めました。まずは正転ロータリー掛け。表面の土が粗く見えています。



5月7日には、逆回転のロータリー掛け。  
逆回転は、トラクターの進行方向に対してバックする方向に爪が回転しています。その為、粗い土の塊は畑の下の方に入り表面には細かい土が出るようになります。播種作業の畑の仕上げに使っています。



5月7日の夜から芋の播種を始め8日の夕方までには芋の播種作業を完了できました。

数年前からJAS畑の作業の目安として李の花の開花を取り入れています。ちなみに以前目安としていたカッコウの初鳴きは5月18日でした。その一週間前というと5月11日でこの頃が播種適期になります。

今年のJAS畑の作り方としてヒマワリも赤ピーツもすべて芋の畝幅で作っていますので年度が変わってもJAS畑のこの畝で何を作付していたかがわかりやすくなります。



5月15日深耕爪を入れる。

各畝に30cm程の1本の爪と割った地面を均すカゴローラーを5セット付けた機械で芋と芋の間の通路の土を柔らかくします。1度に4本の芋畝の両サイドの通路に対して作業します。

排水性を良くする他に除草作業の意味があります。



5月28日 半培土

芋の萌芽が始まる前に早期培土を行います。昨年は、本培土で行いましたが、今年は半培土で行いました。この方が、2回目の培土の本培土がやりやすいのではと思っの事。

雑草の状況に合わせて培土作業・除草作業を進めていきます。